

うちの青年主婦シンポ 自慢14



消費税をたたく、人力です。(メーデーデコレーション)

板橋支部青年部

【板橋・書記・森千恵子 通信員】板橋支部の青年部は、これまで役員をしてきた仲間がみんな卒業ということ、新年度は部長・書記長が一新しました。

部長・書記長が一新

部長の丸谷君のお父さんは分会で書記長、お母さんは女性の会で活躍して、12月の青年部焼肉交流会にお父さんに誘われて参加したのがきっかけで、新年度は部長・書記長が一新しました。

「人集まれば楽しくなる」

「人集まれば楽しくなる」がやるならと書記長を引き受けてくれました。二人とも20歳になったばかりのフレッシュコンビです。みんなで決めたスローカー

ン「楽しみながらシンポ部を作ろう」。メーデーのデコレーションづくり

に始まり、6月30日に青年部焼肉交流会を開催しました。当日の参加は合計9人

事業所分會から5人の新たな参加がありました。部会の後、部長の乾杯の挨拶から交流会が始まり、焼肉を食べながら交

流を行ない、今後「どういうイベントなら青年部が集まりやすいのか、参加したいと思えるのか」を話し合

い次回のイベント計画に向けて話し合うことができました。

現在、部会の参加者が部長・書記長と寂しい状況ではありますが、顔をあわせて交流することで「青年部の活動を一緒に盛り上げよう」と書記長の締めめ挨拶で交流会は終了しました。

参加者からは「人が集まれば楽しくなる!これから多くの仲間を巻き込み、青年部の拡大をして大人数で楽しめるイベントを行いたい」との声もよせられています。



交流会ではおいしい焼き肉に舌鼓

所得サポート保険で

働けなくなるリスクをカバー

【どけん共済会発】所得サポート保険とは、組合員が病気やケガにより、働けなくなった場合の所得減少に備える

保険です。一般的に死亡時の一時金や、病気、ケガの治療に必要な医療費を補填するものとして生命保険や医療保険

制度維持費 180円

に加入していることが多いと思います。では、「働けなくなるリスク」をカバーするものはどうでしょうか。今は長生きの時代、働けなくなった際の収入を補償する保険に注目が高まっています。

組合には共済の傷病見舞金制度、また土建国保加入者には疾病入院給付金制度、協会けんぽ加入者には傷病手当金制度があり、一定の期間は制限付きの補償はされますが、療養前の所得が補償されるわけではありません。また、退院後、自宅療養になった場合には、土建国保からの給付金も受けることはできなくなります。

一方で、家や自動車のローン、お子様の教育費など毎月かかる生活費の負担は変わりません。そこで、万が一の時



支部に配布済みのチラシ

手厚い補償で生活を支援

に本人・家族を守るのが、所得サポート保険です。所得サポート保険は、東京土建オリジナルの保険で、2019年より制度を開始、2022年には、「免責期間30日」のプランも追加、団体割引も30%となり、より使いやすく、ますます掛け金もリーズナブルになりました。

日常生活での病気やケガに加え、就業中の労災が原因で仕事ができない状況になってから、その当時の所得水準が回復するまでの減少分が、最長70歳に到達するまで補償されます。精神疾患は、最長2年間まで補償可能です。

免責期間は、「30日」と「180日」の2つのプランから選択できます。また、保険料は、年齢範囲・性別によって異なりますし、介護医療保険控除の対象となり、受取保険金は原則非課税です。支払方法は月払いで、毎月指定口座からの引き落とし、毎年自動

更新ですので安心です。申込時に「健康状態に関する告知」が必要です。告知内容によっては、保険契約のご加入をお断りする場合がございます。条件付きでご加入いただく場合がありますので、ご了承ください。

組合では、事業所と一人親方向けの2種類のチラシを作成し、普及促進に努めています。チラシにあるQRコード(左参照)を読み込むと、制度概要動画をご覧いただけます。組合員への制度周知として、活用してください。

また、加入者の特典として、健康・医療、介護関連、メンタルヘルス等々各種無料相談サービスがご利用いただけます。

万が一の時に備えて、手厚い補償であなたと家族を守り、そして、大切な従業員の生活と会社の価値を高める「所得サポート保険」を、ぜひご検討ください。



「所得サポート保険」を、ぜひご検討ください。

将棋大会 4年ぶりの開催

藤原さん返り咲きでV

【厚生文化部発】東京土建第42回将棋大会が、8月20日(金)午後7時から東京で4年ぶりに開催されました。日本将棋連盟から島朗九段・鈴木環那女流三段、三枝勇人さんの3人を迎え、18支部36人が参加、久しぶりの再会に笑顔が広がり、対局では一変、真剣な面持ちで白熱した取り組みが行なわれました。

また、島・鈴木先生の指導対局では、32人が果敢に挑戦し、プロ棋士との対局に手ほどきを受けていました。対局後には島先生より将棋界の近況報告や藤井聡太七冠対羽生善治九段の対局の様子などのお話があり、参加者も興味深く聞いていました。その後、クイズコーナーがあり、当選者には色紙や扇子などがプレ



A級で優勝した藤原さん(右)

ゼントされました。熱戦の結果、個人戦A級では品川支部の藤原延行さんが5年ぶりの優勝、見事前回の屈辱を晴らしました。「首を

長くして心待ちにしてました。コロナで将棋大会がなくなってしまうかと心配していましたが、久しぶりに皆さんと会えてとてもうれしく思い

ます。今回は何としても優勝したいと気合が入っていました。結果が出てとてもうれしいと笑顔で応えてくれました。団体戦は、西多摩友の会がチームワーク良く優勝を勝ち取りました。

最後に島・鈴木両先生より講評をいただき、寺山厚生文化部担当中執より、「支部に帰ったら、大会の良さをぜひ広めてほしい」との訴えがあり、閉会しました。

【個人戦】(敬称略)
A級優勝 藤原 延行(品川)
準優勝 飯野 誠一(西多摩)
B級優勝 時田 実(新宿)
C級優勝 小寺 昭雄(清瀬)
D級優勝 久留米
E級優勝 荒川 昭男(練馬)
F級優勝 倉田 文男(杉並)
G級優勝 永田 健(新宿)
H級優勝 松永 毅(西多摩)
I級優勝 満利 勇(西多摩)
J級優勝 高橋 宏(品川)
K級優勝 小川 雅義(足立)
L級優勝 内之倉 博(大田)

【団体戦】
優勝 西多摩友の会(西多摩)
準優勝 チーム品川王将会(品川)
敢闘賞 チーム狛江(狛江)